

地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト） 交付決定事業一覧（令和8年度第4回交付決定）

団体名			事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	北海道	網走市	世界に誇るはオホーツク海と美味しさづくり！複合型価値創出事業	30,000 国費：15,000 地方費：15,000	52,630	北洋銀行	●水産資源の減少が深刻化し、秋鮭や帆立の漁獲量も不安定化。観光最盛期である2月には涼水の影響で漁ができず、市内飲食店には地場産の新鮮な魚介類が出回らない。 ●水産資源は原材料のまま大量流通しており、売上高は限定的で、加工技術や商品化に関する人材育成も進まない。	●東京農業大学との共同研究により、網走港で水揚げされた毛蟹やクロガシラカレイ、車海老・雲丹等の循環型陸上養殖、加工・販売を行う。 ●また、地元食材を活用した飲食メニューや地元特産品の販売を行う店舗を誘致し、地域の魅力を発信するテナント運営事業を行う。 ●地元の小中学生への食育・科学教育プログラムの展開、子どもたちが養殖体験できる「ちびっこ養殖クラブ（仮称）」により、次世代の技術者育成を目指す。	●天候等の影響が少ない陸上養殖による水産資源の保全・活用 ●加工品の高付加価値化によるより大きな地域外からの外貨獲得 ●地元食材・特産品の魅力発信、地域産業の活性化 ●子どもへの食育・科学教育、次世代の技術者育成
2	山形県	新庄市	新庄産有機リンゴを活用したシードル醸造による交流人口・定住人口の拡大地域活性化事業	4,545 国費：2,272 地方費：2,273	4,545	山形銀行	●市の農業の課題として、農産物の加工やブランド化による高付加価値化を行い、収益性の高い農業の推進が求められている。 ●市内には潜在型の観光施設や通年での体験機会が少なく、滞在時間の短い通過型観光が中心であり、地域への経済効果は限定的である。	●シードル醸造所にテイステイングルームを新設し、醸造見学やテイステイング体験、地元有機野菜や加工品とのベアリング体験・販売を行う体験型観光交流事業を実施する。 ●地元の有機JAS認証りんごや有機野菜、加工食品を活用することで、新庄市の有機農業の取組の情報発信や地域の食文化を体感いただくとともに、体験メニューの提供により、滞在時間の延長や関係人口の増加を目指す。	●体験メニューや地域の食文化の体感による関係人口の増加 ●潜在型観光の推進による観光振興・地域経済活性化 ●地元有機野菜の販売、情報発信による農業振興、農業所得の向上
3	山形県	川西町	歴史的建造物を核とした観光アクティビティ拠点整備による交流人口創出事業	4,200 国費：2,800 地方費：1,400	4,200	米沢信用金庫	●川西町には標高220～300mのなだらかな丘陵地帯が広がり、豊かな自然環境に恵まれているが、来訪は秋季に集中しており、年間を通じた安定的な集客確保が課題。 ●点在する町の歴史文化資源、観光資源などをつなげて回遊性を高め、地域振興と地域経済を発展させる必要がある。	●江戸時代後期に建築された国登録有形文化財の建物を改修して観光アクティビティ拠点として整備し、観光交流事業を行う。 ●地元事業者と連携し、マウンテンバイクのレンタルサイクル・ガイドツアーにより地域の飲食店や観光施設などの周遊観光を促すほか、冬季には雪板レンタルを行い、町営スキー場等と連携した冬季観光コンテンツとして確立させ、通年の観光誘客を図る。 ●建物には観光案内・休憩・交流スペースを設け、地元特産物の「秘伝豆」や「蒟」を活用したスイーツやお土産の提供、町の名所や観光スポットの紹介・誘客を行う。	●非降雪期のマウンテンバイク・ガイドツアーによる周遊観光や冬季観光コンテンツの確立による、通年の観光誘客 ●町内に点在する歴史文化資源、観光資源の回遊性を高め、地域振興・地域経済の発展が期待される。
4	富山県	氷見市	氷見の網元古民家を活かした宿泊機能・地域交流拠点形成事業	30,000 国費：20,000 地方費：10,000	36,000	北陸銀行 氷見伏木信用金庫	●氷見市は、古くから漁業が地域経済と住民生活を支えてきた都市であり、漁業経営を担った「網元」の家は、氷見固有の魚食文化・漁業史・歴史的景観を象徴する地域資源である。 ●令和6年能登半島地震により、市内でも建物被害が生じ、歴史的建造物の消失が進み、文化資源の継承が課題。 ●人口減少・少子高齢化が著しく、2050年の若年女性人口減少率が県内市町村で2番目の高さとなると分析されており、関係人口の拡大、移住定住促進が求められている。	●築110年の網元の家（古民家）を改修し、高付加価値型の一棟貸し宿泊事業を行う。 ●氷見漁港で水揚げされる寒ぶり等の鮮魚や地元農産物を使用した飲食メニューを提供するほか、地元漁師・魚卸問屋と連携し、定置網見学や郷土料理教室などの体験を実施。 ●氷見網元の家に代々継承されてきた古文書、美術品、漁具等の展示も行い、地域文化資源の保存・継承を行う。	●網元の家の保存・活用による、地域文化の継承 ●地域産業（漁業・観光・飲食・建築）の活性化、地域経済循環の創出 ●地域交流拠点の整備による関係人口の拡大により、移住定住へつながることが期待される。
5	兵庫県	神戸市	六甲山頂上にある廃城再生を通じた、地域経済循環型の一棟貸しヴィラ事業（ROKKOSAN VILLA）	10,000 国費：5,000 地方費：5,000	15,000	日本政策金融公庫	●六甲山の観光客数は年々減少するとともに、日帰り観光が中心であり、通過型観光から滞在型観光への転換が急務。 ●かつて保養所として機能した物件をはじめ、山上エリアでは空き物件が大幅に増加し、不法侵入や治安悪化、六甲山のブランドイメージ低下といった地域課題が顕在化。 ●地域の担い手不足が進む中、関係人口創出と地域経済循環の仕組みづくりが求められている。	●長年空き物件であった建物を一棟貸しヴィラとして再生し、圧倒的なクエーションとプライベート性の高い空間で、地元の銘酒や食材を提供する。 ●滞在客には、六甲山自然案内人の会と連携した早朝ガイドウォーク等の自然体験や、周辺観光施設・飲食店への送客をプランに組み込み、域内消費を促進する。 ●施設の一部は定期的に地域の創業者・生産者へ無償開放し、六甲山を訪れる登山客・観光客に物販・飲食を提供するチャレンジ出店の場とする。	●地酒や地元食材の調達と地元人材の雇用を通じ、宿泊収益を地域内に循環させる。 ●六甲山ビジターセンター・周辺飲食店・観光施設への送客連携により、宿泊客の地域消費と六甲山ブランドの再興を図る。 ●関係人口の創出、チャレンジ出店等を通じた地域産業・地域コミュニティの活性化
6	島根県	安来市	完熟「やすぎのいちご」魅力発信及びアンテナショップ運営事業	4,702 国費：3,134 地方費：1,568	4,702	島根県農業協同組合	●市は、豊かな農地や自然環境を有する一方、農業の担い手不足や生産物の販路拡大が課題である。 ●特に、地域ブランドである「やすぎのいちご」は、完熟収穫によって高い品質があるものの、長距離輸送に向かないため、流通は地元にとどまり、認知度や経済効果が限定的である。 ●観光面においては、立地状況や体験メニューの不足により、通過型観光が中心となっており、滞在時間の増加が求められている。	●いちご栽培ハウスの近隣に小さなカフェ＆ショップを整備し、市内産果実を活用した飲食メニューの提供、果実・加工品の販売、各種イベントを行う。 ●「やすぎのいちご」のほか、もも、なし、ぶどうなどの季節の果実を活用し、地元農産物の高付加価値化やP Rを行い、農業振興、地域経済を活性化させる。 ●収穫体験イベントや地域マルシェ、ワークショップ等を開催し、交流人口・関係人口の拡大を図る。	●いちごをはじめとした地域の果実を活用した高付加価値化やP Rを行い、農業振興、地域経済の活性化が期待される。 ●完熟いちごの冷凍保存・加工により、廃棄ロスを防ぎ、地域の生産者の所得や生産意欲を向上させる。 ●体験コンテンツの造成により、滞在時間の増加、関係人口の創出を図る。
7	山口県	長門市	まち・ひと・海・山が混ざり合うみずゝ通りの交流拠点施設整備事業	21,227 国費：14,151 地方費：7,076	21,500	山口銀行	●長門市は、水産業と観光業を基軸として発展してきたが、近年は若年世代の減少や後継者不足等により、空き家・空き店舗が増加。 ●仙崎地区には年間100万人が訪れる道の駅「センザキッチン」があるが、周辺の周遊観光にはつながっていない。 ●市は2016年にウッドスタート宣言を行い、自伐型林業の促進、地域木材のブランド化など林業振興にも取り組んでいる。	●仙崎地区の中心部であるみずゝ通りの古民家を交流拠点施設へトリノバージョンし、ゲストハウス、飲食・小売テナント、ワークショップスペースを運営する。 ●施設の改修には「なぐと産木材」を使用するほか、仙崎い長や長門ゆずき（柑橘のブランド名）等の特産品を活用した飲食メニューを提供する。 ●海と山の自然を活かした体験コンテンツも造成・提供し、周遊観光や観光客と地域との交流を促進する。	●道の駅から地区の中心部への誘導、地域内の体験コンテンツ造成により、滞在・周遊型観光を促す。 ●地域の特産品の活用により、生産者の所得向上、地域経済循環を創出。 ●域内外の人が滞在・交流できる場となり、関係人口の創出・拡大、地域の賑わいを創出。